カパル運営委員会報告

2024年11月17日 第6回研究大会 @慶應義塾大学

カパル代表佐藤百合/会計担当責任者間瀬朋子

1. カパル (インドネシア研究懇話会) とは

ビジョン=インドネシアと関わりを持つ人のための開かれた研究

・交流・情報プラットフォームの創出

目的=

会員制をとらないオープンな集まりとし、特定の専門 分野や国境のうちに閉じこもることなく、広い意味で のインドネシア研究の発展とインドネシア理解の促進 を図り、参加者相互の交流と親睦の進化に寄与すること

運営主体 = 運営委員会

2018~21年度

共同代表: 加藤・倉沢

理念・仕組み作り

2022~23年度

正副代表: 鏡味・佐藤

運営委員会規則

2024~26年

正副代表: 佐藤・長津

2. 第6回研究大会(2024.11.16~17)

カパルの研究・交流プラットフォームとしての年次研究大会

自由研究発表 14 ライトニングトーク 3

シンポジウム、特別企画、パネル 各1

発表者合計 33名(大学院生・学部・高校生も、インドネシアからも)

参加者合計 約140名 (対面+オンライン)

3. 次回の第7回研究大会(2026年7月頃)

第7回以降のカパルの年次研究大会は 秋(11~12月)から春(6~7月)に移ります

時期を移す理由は、秋季に多くの学会の大会が集中すること。とくに参加者の重複が多いと思われる東南アジア学会の研究大会との近接を避けることは、報告予定者や運営関係者の利便にかなうと考えられる。

次回の開催場所は、西日本の予定(東西交互の開催は今後も続ける)。

→2025年中にはカパル研究大会は開催されないことになります

4. 創設から4年間の運営総括の掲示

2018年12月の創設から4年間のカパルの運営について、創設者・共同代表であった加藤剛氏がまとめた「2018~2021年度の運営総括」を、このほどカパルHP「カパル航海録」にアップしました。

- 「4年度間総括の説明」、同「目次」、「4年度間の運営委員会議事録等集成の説明」、同「目次」の4文書をアップ
- 「どのような目的でカパルを立ち上げ、どのような試行錯誤があり、 いかなる課題があるかを纏めたもの」「カパルのよりよき将来を共 に考える一助となれば幸いである」(「総括の説明」より)

→「総括」「議事録等集成」の本体は、内容が詳細かつ大部であるため一般公開はしていないが、関心のあるカパルのMLメンバーはHPの問い合わせ欄または最寄りの運営委員を通じてご連絡ください。

5. 情報プラットフォームとしてのHPとML カパルのウェブサイトとメーリングリスト

カパル・ウェブサイトへの新規掲載(2023年~24年現在)

【大会見聞記】=大会参加者による所感 6本

【カパルの本棚】=著者・他者による本の紹介 4冊

【カパル・アンギン(風のたより)】 = 自由エッセイ 2本

【先達・先輩と語る】=若手によるインタビュー 4人分

【インドネシア・デジタルゲートウェイ】=情報サイトの紹介

- →自著の簡単な紹介、現地からの/現地調査での観察、研究大会の感想などなど、ぜひ積極的にカパルにお寄せください!
- →インドネシア関連情報を、積極的にMLで共有ください!

6. 2023年度会計報告(監事による監査済み)

I 収入の部	(単位:円)	Ⅱ 支出の部	(単位: 円)
前年度繰越金	508,606	ドメイン使用料	2,708
利息	4	サーバー使用料	5,238
第5回研究大会参加費 (一般2,000 / 学生1,000)		学生アルバイト謝金	117,600
LivePocket Ticket(一般110枚、学生20枚)	240,000	交通*・通信費	40,237
銀行振込(一般11枚、学生2枚)	24,000	消耗品費(名札、カパル英語印章)	8,667
		講演文字起こし代	18,480
		LivePocket Ticket 手数料	12,000
		LivePocket Ticket 振込手数料	550
		銀行振込手数料	2,230
		支出合計	207,710
		残預金	564,900
計	772,610	計	772,610

- ◆日常的なもの(収入 利息4円/支出 ドメイン・サーバー使用料と銀行振込手数料で10,176円)
- ◆前年度繰越金(になるもの)=KAPAL銀行口座預金